

施設名またはグループ名	大船フラワーセンター
-------------	------------

計画					実施及び分析													
事業計画（提案内容）					R5	R6	R7	R8	R9	実施内容	R5	R6	R7	R8	R9	自己評価	備考 （次年度に向けて）	
項目	階層1	階層2	階層3 中見出し	提案内容														
1	(5)	-	2) 発注先の選定方法	①県内事業者への優先的な業務発注 ②複数社からの見積もりを取りコストダウン ③社会的信用や社会貢献度の高い企業・団体への発注 ④障がい者就労施設等からの優先的な物品調達 ⑤適切な資格・免許を有する専門業者に発注 ⑥委託業務の作業進捗・水準の指導、監督、検査 ⑦反社会的勢力への発注防止	●	●				①～⑦ 提案通り実施	●	●				A	継続実施	
2	-	-	2) 執行体制	①スーパーバイザーによる適切な維持管理状況のサポート ②維持管理業務の統括を担うファシリティマネージャーを配置 ③造園・土木施工管理経験を持つ園長（責任者）が必要に応じてファシリティマネージャーをサポート ④施設設備に関する異常発生時の対応 ⑤「Facility Log」の導入	●	●				①～⑤ 提案通り実施	●	●				A	継続実施	
			3) 清掃業務	①毎年研修を実施した清掃スタッフが日常清掃を実施 ②7：00からの早朝清掃作業を実施 ③臨機な対応 ④スタッフバッグの携帯 ⑤感染症発生を防止する清掃の実施 ⑥落葉期における清掃人員の強化 ⑦トイレ清掃の実施回数 ⑧トイレのコーティング清掃 ⑨定期清掃を年4回実施 ⑩特別清掃 特に汚れのひどい箇所の高圧洗浄	●	●				①～⑩ 提案通り実施	●	●				A	継続実施	
			4) 保守点検業務	①法定点検、保守点検等の管理をファシリティマネージャーが実施 ②補修改善計画書の提出と対応の協議 ③修理対応の履歴蓄積	●	●				①～③ 提案通り実施	●	●					A	継続実施
			5) 警備業務	①警備員を24時間常駐で配置 ②繁忙期の対応 ③携帯装備の充実 ④無線ディテクターを用いたトイレの盗撮・盗聴調査	●	●				①～④ 提案通り実施 ④ 現在簡易盗聴盗撮無線発見器を使用継続	●	●					A	継続実施 無線ディテクターではなく、簡易盗聴盗撮無線発見器を使用
			6) 受付業務	①来園者から常にスタッフの顔が見え、対面で利用案内を行える環境とすることで来園者が活発にコミュニケーションを取れる場とします。 ②事務スペースでは常時2名の受付スタッフが窓口対応を行い、発券に関するサポートや年間パスポートの発行、無料エリア利用者の対応を担います。 ③年間パスポートの発行および障害者等の無料入園者の対応は年齢や本人確認等の事務作業を要するため受付カウンターで行います。 ④休日は入園ゲートに受付スタッフを1名配置し、見ごろの植物案内や入園券購入サポート、講座・イベントの周知など行います。平日は受付、警備、清掃の職員がシフトを組み対応します。	●	●				① 提案通り実施 ② 提案通り実施（事務スペースではなく券売スペース） ③ 提案通り実施（受付カウンターではなく券売スペース） ④ 提案通り実施（休日は受付スタッフを1名以上配置、平日清掃職員は受付対応はしない）	●	●					A	継続実施
			4) イベント企画運営	①植物に興味を持つきっかけとなるイベント ②植物をより深く知る、触れるイベント ③季節や展示等と連動したイベント ④日常的に気軽にセンターを訪れて頂くためのイベント ⑤SDG s や環境意識の啓発イベント ⑥その他の集客に繋がるイベント	●	●				①～⑥ 提案通り実施	●	●						A
3	(1)	アイウ	6) 園芸相談	①週3回以上の園芸相談の実施 ②園芸相談の回答の蓄積と公開	●	●				① 提案通り実施 ② 回答の蓄積は実施、公開は掲示板等で検討中	●	●				B	継続実施	
			2) 来園者・近隣住民への情報発信：近距離	①タブレットを使用したスタッフによる来園者への直接的な情報提供 ②パンフレット、植物園だよりなどの配布物のデザイン刷新・内容の見直し ③デジタルサイネージを活用した情報発信 ④地域情報冊子、フリーペーパーの継続的な情報発信 ⑤鎌倉市公園協会が管理する公園での情報発信 ⑥地域団体・企業との連携による広報PR	●	●				① 実施検討中 ② R5年度10月に刷新済 ③～⑥ 提案通り実施	●	●				B	継続実施	
			3) 県内への情報発信：中距離	①県の広報紙「県のみより」での情報提供を継続 ②神奈川県観光協会HPへの施設情報掲載と開花情報の掲載 ③共同事業体が管理する県内の指定管理施設での情報提供並びに共同開催イベントによる相互送客の実施 ④共同事業体各社の社員及び関係者への広報 ⑤新聞・雑誌・テレビ等で発信される情報媒体へプレスリリース ⑥教育委員会・校長会を通じた団体利用の手引きの配布と感染症対策の徹底・PR	●	●				①～⑥ 提案通り実施	●	●					A	継続実施
			4) 県外への情報発信：遠距離	①ホームページのリニューアル ②SNSを活用した目的別の広報 ③無料のイベント情報ホームページやフリーペーパーの活用	●	●				① 実施検討中 ②・③ 提案通り実施	●	●					B	継続実施
			2) 神奈川県手話推進計画を踏まえた具体的な取組	①施設を訪れる前の情報提供における段階での配慮 ・お問合わせへの対応 ・Webでの情報提供における配慮 ・Webでの園芸相談の案内 ②窓口における対話での配慮 ・タブレット型端末を使用した対面型通訳によるスムーズな対話でおもてなし ③筆談器と対面コミュニケーションを組み合わせたご案内 ④講座やイベントにおける対応 ⑤職員、県民に対する手話学習の推進 ・朝礼や研修を通じた手話の習得 ・障害をお持ちの方でも楽しんでいただけるイベントの開催 ・県民に対する手話への理解の促進	●	●				①提案通り実施 ②・③ 未実施 ④ イベントの開催・県民に対する理解促進は未実施	●	●					B	継続実施
			3) 要望の把握方法	①満足度調査の実施 ②満足度調査の結果をグラフ化し、年度ごとの比較と課題点を把握 ③問い合わせ窓口として、管理事務所、電話、FAX、HPの受付環境を継続運用 ④管理事務所に御意見箱を設置 ⑤全ての施設で、わかりやすく問い合わせ先として管理事務所の連絡先を明示 ⑥イベントの内容に関する満足度調査を実施 ⑦地域の自治会、企業、団体等へのヒアリング ⑧目的に応じた個別ヒアリング ⑨行動観察調査の実施	●	●				①～⑨ 提案通り実施	●	●				A	継続実施	

計画					実施及び分析																
事業計画（提案内容）					R5	R6	R7	R8	R9	実施内容					R5	R6	R7	R8	R9	自己評価	備考 (次年度に向けて)
項目	階層1	階層2	階層3 中見出し	提案内容																	
3	(2)	イ	4) 要望の分類	①把握した要望を、対応レベルごとに3段階で分類 ②内容に応じて、5つの基準で分類	●	●					①・② 提案通り実施（8つの基準で分類し、満足・やや満足・普通・やや不満・不満の5段階で評価を頂く）	●	●						A	継続実施	
			6) 対応結果の報告、および情報の蓄積	①毎月、施設に寄せられた苦情要望を一覧にして県に提出し状況を報告 ②施設に勤める職員間で情報を共有し、トラブルの未然防止、業務改善に活用 ③利用者に対して寄せられた要望への対応結果をホームページや掲示板で公表 ④データベースに蓄積した情報をもとにハザードマップを更新 ⑤PDCAサイクルの実行	●	●						①～⑤ 提案通り実施（苦情要望に対しては、すぐに対応できるものは対応し、時間がかかるものは課題として取り組んでいる。対応不可のものは、説明してご理解を頂くように努めている）	●	●						A	継続実施
			7) ニーズの業務反映と、業務進捗の確認	①年度計画の作成 ②独自様式の活用 ③県による事業評価 ④利用者への満足度調査 ⑤指定管理者（責任者・副責任者）による年度計画書・自己評価欄を用いた確認 ⑥共同事業体4社による監査 ⑦県、利用者、指定管理者による事業評価から把握した改善点の業務反映、及び次年度計画への反映	●	●					①～⑦ 提案通り実施	●	●							A	継続実施
4	(1)	-	1) 巡回点検による安全対策	①運営協議会にあわせ四半期に一度、構成各社の本社職員が安全状況を確認する安全パトロールを実施 ②警備員が行う通常の園内巡回に加えて、ミックス巡回を毎日実施	●	●					①・② 提案通り実施	●	●							A	継続実施
			2) 定期点検等による安全対策	①定期点検を適切に実施し、施設に起因する事故を防止 ②見通しのよい園内環境づくり ③施設の衛生管理の徹底、汚れや破損から起こる利用頻度の低下、安全性の低下を防止 ④高度な技術・資格を要する作業に関しては専門業者に委託	●	●					①～④ 提案通り実施	●	●							A	継続実施
			3) 事故・災害情報の蓄積と活用	①園内で発生した施設に起因する事故や、気象災害にともなう園内被害状況の蓄積 ②蓄積した情報をもとに、巡回時の重要確認箇所を記載したパトロールポイントマップを作成 ③日常の巡回の際にパトロールポイントマップを携帯、同マップに従い危険箇所を確認 ④蓄積した情報をもとに、特に大規模な園内冠水に関するハザードマップを作成 ⑤降雨による浸水箇所・土砂流出箇所の速やかな確認と、対処方法の個別記録および運用	●	●					①～④ 提案通り実施 ⑤ R6年度は台風等の被害が無く、対象外	●	●							A	継続実施
			4) マニュアル作成・保険加入	①緊急時対応マニュアルの作成、及び繰り返した訓練の実施 ②マニュアルにもとづく訓練を毎年実施 ③被害者・被災者対応に備えた保険加入	●	●					①・③ 提案通り実施 ② 未実行	●	●							B	継続実施
			5) 維持管理作業時の安全対策	①安全衛生推進者を配置し、リスクマネジメント会議を実施 ②作業機器の整備、及び安全操作に関するOJT研修の実施 ③毎日の維持管理業務の作業前に行う、KY活動の実施 ④KY活動における、服装、装備品等の適正性のチェック ⑤委託業者へのKY報告シート提出の義務付け、及び作業の指導・監督 ⑥作業時の怪我や熱中症対策を目的とした、救急箱、ウォータージャグの常備 ⑦作業員の作業時の安全対策の徹底 ⑧管理用車両の園内での安全運転の徹底 ⑨園内利用者に影響が生じる可能性のある作業は、開園時間前に実施 ⑩作業エリアの確保を徹底し利用者の安全を確保 ⑪飛石等の飛散防止ネットを使用 ⑫施設入口及びホームページで作業に伴う注意喚起を実施 ⑬広範囲又は騒音を伴う作業・機器を使用する作業時の配慮	●	●					①～⑩・⑫・⑬ 提案通り実施 ⑪ 現状刈り払い機使用は、安全のためにお客様がいない時間帯や休園日に実施	●	●							A	継続実施
4	(2)	-	1) 風水害等に係る注意報・警報発令時の対応体制	【注意報発令時：開園時間内】 ①気象情報に注意し、職員に待機命令を行う ②風雨等により被害の影響の恐れのある設備、植栽の固定・撤去等の対応を実施 ③利用者に対する注意喚起 ④テレビ、インターネット等を用いて気象情報を収集 【注意報発令時：開園時間外】 ⑤気象情報に注意し、責任者・副責任者以下各職員自宅待機 【警報発令時：開園時間内】 ⑥警戒配備体制を構築 ⑦緊急巡回の実施 ⑧県農政課および共同事業体の代表本社に体制・状況を報告 【警報発令時：開園時間外】 ⑨責任者または副責任者が速やかに参集 ⑩常駐する警備職員が園内状況を確認し、責任者及び県農政課に報告	●	●					①～⑤ 提案通り実施 ⑥～⑩ R6年度は警報発令無	●	●						A	継続実施	
			2) 風水害等の被害が生じた場合の対応	①責任者が当日勤務している職員に対して各対応担当を選任 ②情報連絡係が緊急連絡体制図にもとづき緊急連絡を実施 ③救護・避難誘導係が利用者の安全を確保 ④応急措置係が災害発生箇所の立入禁止措置、応急措置を実施 ⑤共同事業体各社の本部組織が現地管理事務所の対応を支援 ⑥緊急対策本部の設置 ⑦被害状況の記録保存、目撃者への確認、状況の記録撮影 ⑧復旧対応を速やかに実施し、施設を早期供用再開 倒木処理、除雪、排水処理等 ⑨被害者のアフターケア ⑩報告書を速やかに提出 ⑪災害・事故・事件の発生情報の蓄積、パトロールマップ、ハザードマップに反映	●	●					①～⑪ R6年度は風水害被害無	●	●						A	継続実施	

計画						実施及び分析																	
事業計画（提案内容）						R5	R6	R7	R8	R9	実施内容					R5	R6	R7	R8	R9	自己評価	備考 (次年度に向けて)	
項目	階層1	階層2	階層3 中見出し	提案内容																			
4	(2)	-	3) 園内冠水時の対応	①被害が予想される場合、移動・撤去等対策を行える植物、備品は極力被害防止策を講じる ②冠水発生後は速やかに立入禁止措置を講じる ③被害が沈静化した後、ポンプを用いた排水等実施 ④植物に付着した泥等の洗い落とし ⑤直営職員および委託による園内清掃を実施（泥の洗い流し等） ⑥除菌等の処置を実施し、供用再開		●	●							①～⑥ R6年度は園内冠水無	●	●					A	継続実施	
			4) 地震災害発生時の対応	【予防対策】 ①防災訓練を毎年1回以上実施 ②勤務時間に地震が発生した場合の参集訓練を実施 ③近隣教育機関と連携し、防災訓練または救助訓練を実施 ④近隣自治会と連携し、近隣住民参加型の防災訓練を実施 ⑤緊急対策費の確保および地震発生時の速やかな対策費執行 ⑥職員3日分の食料等、災害時備品を災害対策ボックスに備蓄 ⑦災害時マニュアルを地域施設や自治会・町内会を対象に閲覧環境を整備 ⑧震災の規模に応じて参集者を規定 【初動時対応(地震発生から3時間以内)】 震度4 ①開園時に震災が発生した場合 ②閉園時に震災が発生した場合 ③本社組織対応 県内震度5弱以上等 ④開園時に震災が発生した場合 ⑤閉園時に震災が発生した場合 ⑥本社組織対応 【緊急時対応(地震発生から3日間)】 ①県の行う震災後の対応と連携し、避難者対応を支援 ②近隣避難所に避難者の誘導を開始 ③被災者への情報提供（近隣避難所、物資配給、炊き出し等） ④事業継続計画（BCP）にもとづく施設機能早期復旧 ⑤構成団体各社による現地対策本部の支援 【復旧・復興期対応】 ①県と連携し避難者対応を支援 ②近隣避難所に避難者の誘導を完了 ③被害状況に応じて復旧計画提言書を作成し、県に報告		●	●					【予防対策】①～⑧ R6年度は防災訓練の実施無	●	●						B	継続実施		
			5) 不法行為等の未然防止と対応	①施設利用ルールの周知徹底による、不適切な行為の未然防止 ②園内巡回時に不法行為の痕跡を発見した場合の対処：フラワーセンター安全管理マップへの情報蓄積 ③職員がいる場で不適切な行為が行われた場合の対処 ④利用者から寄せられる情報で問題が判明した場合の対処 ⑤施設の破損等を伴う不法行為が行われた場合の対処		●	●								①～⑤ 提案通り実施	●	●					A	継続実施
4	(3)	-	1) 救命に係る職員配置・研修	①上級救命講習を責任者及び副責任者が受講 ②普通救命講習を全職員が受講 ③毎年、防災訓練時に緊急時の対応を確認 ④こどもを対象に使用できるAEDの設置 ⑤応急処置セットを管理事務所に常備 ⑥ボイズルームを管理事務所に常備、また屋外で作業を行う職員は常備 ⑦緊急連絡体制図を管理事務所の目立つ位置に掲示		●	●						①・⑤～⑦ 提案通り実施 ②・③・④ 未実施	●	●					B	継続実施		
			2) 急病人等が生じた場合の対応	①管理事務所において速やかに急病人の応急手当を実施 ②緊急連絡体制図にもとづき速やかに関係機関に連絡		●	●								①・② 提案通り実施	●	●					A	継続実施
5	(1)	ア	2) 花き愛好者団体の活動充実についての具体的な取り組み	①専任スタッフによる愛好者団体との定期的な話し合い・打ち合わせの実施 ②花き愛好者団体の協議会を開催 ③花き愛好者団体による展示内容の充実や新規団体の誘致 ④花き愛好者団体の活動内容、展示会情報を発信 ⑤花き愛好者団体の新規会員募集をサポート		●	●						①・③・④ 提案通り実施 ②・⑤ 未実施	●	●					B	継続実施		
			3) 花き愛好者団体の展示会の魅力アップのための具体的な取り組み	①貸出備品やPOPの充実 ②ディスプレイのアドバイスや相談を受付 ③来園者目線の展示を愛好者団体とともに実施		●	●								①～③ 提案通り実施	●	●					A	継続実施
			4) 菊花展の魅力アップのための具体的な取り組み	①より魅力的な展示するための新たな取り組みの提案 ②新規客層の集客		●	●								①・② 提案通り実施	●	●					A	継続実施
		イ	2) 新規団体の展示活動の開拓への具体的な取り組み	①展示実績データベースをもとにした関係者各所へアプローチ ②類似施設との連携 ③人気展示や隠れた優良展示の発掘・誘致		●	●								①～③ 提案通り実施	●	●					A	継続実施
5	(2)	ア	2) 企業・団体との連携	①地域連携を担う職員として、広報・協働マネージャーを配置 ②日本植物園協会、県博物館協会、鎌倉市観光協会への入会 ③町内会、神奈川県商工会議所連合会への参加 ④愛好者団体や地域住民との協議会を実施 ⑤企業のCSR活動の誘致 ⑥県や地域の事業に積極的に協力・参加 ⑦花菜ガーデンとの連携		●	●						①～⑦ 提案通り実施	●	●					S	継続実施		
			3) 近隣教育機関との連携	①ITツールを駆使した教育機関向け体験学習プログラムの提供 ②職場体験、インターシップの受け入れ ③幼稚園・保育園向けの教育プログラムを提供し、園児が定期的に訪れる仕組みを設計 ④地元企業・教育機関と連携した学習プログラムの提供 ⑤学童と連携した学習プログラムの提供		●	●								①～⑤ 提案通り実施	●	●					A	継続実施

計画					実施及び分析																
事業計画（提案内容）					R5	R6	R7	R8	R9	実施内容					R5	R6	R7	R8	R9	自己評価	備考 (次年度に向けて)
項目	階層1	階層2	階層3 中見出し	提案内容																	
6	-	-	節減努力等	①効率的な管理経費の執行に努め、神奈川県内の財政負担を減らす努力	●	●							① 提案通り実施	●	●					A	継続実施
7	(1)	-	2)業務内容	①責任者：日本植物園協会加入施設において責任者の業務経験がある職員を配置 ②副責任者：鎌倉市内において長年緑地管理業務に携わってきた業務経験がある職員を配置 ③アドバイザー：植物の普及啓発事業全般に監修 ④植物管理マネージャー：植物管理業務および展示に係わる業務経験がある職員を配置 ⑤展示植物管理スタッフ：リーダーとして植物管理業務経験10年以上の職員を配置 ⑥緑地管理スタッフ：鎌倉市公園協会の人材を配置 ⑦施設設備に関する職員の配置 ⑧利用促進に関する職員（催事展示マネージャー、広報・協働マネージャー）の配置	●	●							①～⑧ 提案通り実施	●	●					A	継続実施
7	(2)	-	1)委託を行う業務範囲と履行確認の方法	①業者に対して業務開始前の研修を実施 ②KYシートの提出を義務付け ③作業開始前にKY活動の実施を義務付け ④責任者または業務責任者が作業に立ち会い、作業内容を確認・指導を実施 ⑤共同事業体4団体が組織する運営委員会が、四半期に一度委託業務の実施状況を確認 ⑥高木剪定・枯損枝除去は地元造園会社へ委託	●	●							①～⑥ 提案通り実施	●	●					A	継続実施
7	(3)	-	1)欠員が生じた場合の職員の確保と業務の引き継ぎ、リスク管理	①各社のストック人材の配置 ②鎌倉市公園協会の持つ地域ストック人材の活用 ③ハローワーク、求人サイト等の媒体を活用した職員の募集(実施継続) ④一つの業務を複数の職員で携わらせることで、退職に伴うノウハウ喪失リスクを抑制 ⑤退職前の十分な業務引き継ぎ期間の確保 ⑥業務の各種マニュアルを作成し、引継ぎ時に活用	●	●							①～⑥ 提案通り実施	●	●				A	継続実施	
			2)職員の研修計画	①新規雇用職員に対する、就労前の段階での新任研修（全職員） ②基本的技能を身につける接遇研修・安全管理に関する研修（全職員） ③各職務内容に応じた専門スキルを身につけるための専門研修 ④職員が自発的にモチベーション・技術力を向上させるための支援制度 ⑤共同事業体4団体に組織する運営委員会による教育進捗の確認・研修受講状況のチェック ⑥日比谷アメニス本社による教育項目実施支援 ⑦各社人事部、経理部が本施設で雇用する職員の労務・経理管理を実施 ⑧施設管理者会議において、労務・経理管理に関する責任者および事務長への指導を実施 ⑨各種マニュアルの作成、職員教育への活用	●	●							①～⑨ 提案通り実施	●	●				A	継続実施	
7	(4)	-	1)労働時間短縮の取組	①役員会において毎月の超過勤務および勤怠状況を確認、問題がある場合には速やかに指導・改善	●	●							① 提案通り実施	●	●					A	継続実施
			3)男女共同参画に係る考え方	①募集の際には性別による業務内容や役職の固定を行いません ②資質・能力のみを採用基準とし、性別にかかわらず平等に採用します ③男女差別につながる表現・言葉を禁止し、セクシャルハラスメントを許容しません ④固定的な性別分業を認めず、地域の慣例等にもとられません ⑤合理的配慮を怠らず、性別に係わらず活躍できる職場環境を整えます ⑥時短勤務や出勤曜日の希望選択制など、勤務シフトを柔軟に構成することで多様な勤務形態を受け入れます	●	●							①～⑥ 提案通り実施	●	●				A	継続実施	
9	(1)	-	2)関係する法令・条例等の遵守	①スタッフ研修による法令遵守教育（全スタッフ対象） ②業務前の確認 ③施設設備等の法令に基づく点検・検査等の実施 ④構成各社で組織する運営委員会において執行確認及び四半期に一度内部監査を実施	●	●							①～④ 提案通り実施	●	●					A	継続実施
			3)適正な労働条件・労働環境の確保	①非正規従業員については県の臨時任用職員の時給の賃金単価を参考に給与単価を設定 ②正規従業員については構成各社の内部規約に基づき設定 ③職責や職務内容、個人の能力に応じて各社内部規定に基づき給与を設定 ④責任者の教育による関係法令への理解浸透	●	●								①～④ 提案通り実施	●	●				A	継続実施
			4)反社会的勢力への対応	①組織として対応します ②外部専門機関と連携して対応します ③取引を含む関係を遮断します ④有事においては法的対応を図ります ⑤一切の裏取引や資金提供を禁止します	●	●								①～⑤ 提案通り実施	●	●				A	継続実施
9	(2)	-	2)大船フラワーセンターでの環境配慮の取組	①植物発生材を100%資源化 ②グリーン購入の推進、及び環境に配慮した商品・サービスの購入、再生紙の活用 ③ごみの減量化啓発及び分別の徹底 ④病害虫の早期発見・早期対応、及び農薬を極力使用しない維持管理 ⑤目標数値を定めた、節水・節電の実施 ⑥再生可能エネルギーに由来する電力を使用 ⑦環境共生意識の普及啓発を目的に、子供たちを対象とするクラフトイベントに剪定枝等を活用 ⑧管理車両への給油はSQ（標準品質）マーク掲示のガソリンスタンドで行い、不正軽油使用を防止	●	●							①～⑤ 提案通り実施 ⑥ 未実行 ⑦・⑧ 提案通り実施	●	●				B	継続実施	
9	(4)	-	2)具体的な取組 ～施設設備等、ハード面での合理的配慮の提供～	①積極的な姿勢で問題点の把握および改善策の実行 ②バリアフリーマップの作成 ③情報アクセシビリティ向上への配慮 ④平易な文章表記の実施	●	●							①・③・④ 提案通り実施 ② 未実施（パンフにて都度説明）	●	●				B	継続実施	
			3)具体的な取組 ～サービス提供等、ソフト面での合理的配慮の提供～	①適切な合理的配慮の提供 ②接遇研修における障がい者差別解消法等への理解の促進 ③筆談、読み上げ対応、手話等による意思表示やコミュニケーションを支援するための人的支援の提供	●	●								①・② 提案通り実施 ③ 未実施	●	●				B	継続実施
9	(5)	-	2)神奈川県手話推進計画を踏まえた具体的な取り組み	①施設を訪れる前の情報提供での配慮 ②窓口における対話での配慮 ③講座やイベントにおける対応 ④職員、県民に対する手話学習の推進	●	●							①・② 提案通り実施 ③・④ 未実施	●	●				B	継続実施	

計画					実施及び分析																
事業計画（提案内容）					R5	R6	R7	R8	R9	実施内容					R5	R6	R7	R8	R9	自己評価	備考 (次年度に向けて)
項目	階層1	階層2	階層3 中見出し	提案内容																	
10	(2)	-	2) 個人情報の収集、管理方法、管理体制	①個人情報の利用目的と範囲を明確に定め、本人同意のうえ適法かつ公正な手順により必要最低限の情報のみ収集 ②思想、宗教、人種、民族、本籍地などの機微情報は一切収集しない ③法令規定や本人同意のある場合以外、第三者へ一切情報を提供しない ④情報取扱責任者による取扱管理を実施 ・管理責任者を情報取扱責任者に選任 ・情報の取扱者を業務上必要の認められる特定のスタッフのみに限定 ⑤個人情報統括管理表を作成 ・統括管理表には、取り扱っている情報の種類、情報取得、管理票、保管場所、保管方法、保管期間を記載 ⑥専門会社によるPCセキュリティ体制の確立、漏洩防止策を実施 ・起動時のパスワード設定や利用者IDの設定、アクセス権の設定、ウイルス対策ソフトの導入、アクセス記録の保持、ファイヤーウォールの構築等 ⑦個人情報の記載された書類は鍵のかかる棚もしくは書庫にて保管 ⑧情報を破棄する際、情報の流出に十分留意する ⑨複製を対象に送信する場合はBCCでの送信を徹底 ⑩個人情報保護研修を毎年実施 ⑪雇用スタッフ及び協力会社契約時個人情報取扱特記事項の提出を義務化 ⑫代表団体日比谷アメニス本社組織が年に一度内部監査を実施 ⑬代表団体日比谷アメニス個人情報漏洩損害保険に加入 ⑭プライバシーポリシーを施設HP及び管理事務所受付に明示	●	●														A	継続実施
			3) 情報漏洩時の対応	①情報取扱責任者が直ちに担当課、代表団体日比谷アメニス本社に報告(情報漏洩無) ②被害状況(漏洩内容、範囲)を把握(情報漏洩無) ③対象者に情報漏洩の内容を連絡し謝罪と状況説明、保険の適用等対応(情報漏洩無) ④漏洩した情報を回収し、二次被害を防止(情報漏洩無) ⑤発生原因を調査し経過を担当課、共同事業体各社に随時共有(情報漏洩無) ⑥代表企業が主体となり、現地管理事務所と一体で再発防止策を検討。個人情報取扱に関する精査、改善策の構築、管理体制へのフィードバックを実施(情報漏洩無)	●	●														A	継続実施

令和6年度 年間事業計画・実績書（年度ごとに実施を確認する事項）

様式2-②

施設名またはグループ名	大船フラワーセンター
-------------	------------

項目	階層1	階層2	階層3 中見出し	事業計画（提案内容）	項目	令和5年度	令和6年度
			年間目標			<ul style="list-style-type: none"> 利用者数向上につながる利用促進サービスの提供 地域団体との連携事業推進 自主事業サービス提供の安定化 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数向上につながる利用促進サービスの提供 地域団体との連携事業推進 自主事業サービス提供の安定化
1	(2)	-	2) 主な保有植物の維持充実方策 3) 主な保有植物の展示・公開方法	2) ◆ハス ①ハスの品種拡大 ◆ハナショウブ ①玉川大学田淵教授との連携 ②ハナショウブの品種同定 ③ハナショウブの増殖 ④ハナショウブの品種交換による種類数拡充 3) ◆ハナショウブ ①修景的な水路への改修 ②大船系品種の由来などについて掲示の充実 ◆ハスの公開 ①ハス開花期の早朝開園実施 ②金子先生(元京都府立植物園園長)との連携 ③遠方からの鎌倉のバックゲイツアーを検討 ◆バラ園 ①外部アドバイザー山本健生氏による指導(継続) ◆主な保有植物全般に係る展示公開方法 ①「園長さんぽ」による解説 ②夜間開園	計画	<ul style="list-style-type: none"> 各植物の年間管理スケジュールによる適切な管理 大船系ハナショウブの保持と修景的な水路の改修 ハナショウブ以外の主な保有植物に係る品種保存のリスク分散 	<ul style="list-style-type: none"> 各植物の年間管理スケジュールによる適切な管理 大船系ハナショウブの保持と品種交換による種類数拡大 ハナショウブ以外の主な保有植物に係る品種保存のリスク分散
					実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 水路の延長実施 大船系ハナショウブのバックヤードでの栽培維持と増殖 大船系の栽培面積の拡大 大船系ハナショウブの保持と修景的な水路の改修 	<ul style="list-style-type: none"> 各植物の年間管理スケジュールによる適切な管理 ハナショウブの鉢植えによる保存の拡大(10品種、各2) ハスの新たな品種収集(18品種) 日本の野生種のヤマユリ(20球)、シマカノコユリ(10球)などの補植増殖
					自己評価	A	A
					備考 (次年度に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> ハナショウブ以外の主な保有植物に係る品種保存のリスク分散 	<ul style="list-style-type: none"> 各植物の年間管理スケジュールによる適切な管理 大船系ハナショウブの保持と品種交換による種類数拡大 ハナショウブ以外の主な保有植物に係る品種保存のリスク分散
(4)	-	3) 展示植物の種類の管理 9) 生態系及び生物多様性に配慮した植栽管理や家庭園芸の推進並びに普及啓発	3) ①目録に基づく種類の管理 ②経験豊富なスタッフによる定期的な目録チェック ③草刈りの際の展示植物の保護 ④名称の正確性の担保に努める 9) ◆生態系および生物多様性に配慮した植栽管理 ①IPM(総合的病虫害・雑草管理)の考えに基づいた植栽管理 ②多様な生物の生息環境の創出・保全に向けた取組み ◆生態系および生物多様性に配慮した家庭園芸の普及啓発 ①園芸における「益虫」という考え方の普及 ②コンパニオンプラントの展示普及	計画	<ul style="list-style-type: none"> エリアごとの改善案、展示の仕方の具体的な計画立案と実践 エントランスゾーンの魅力ある展示装飾 無加温温室植物の耐寒性の確認とバックヤード植物の活用と展示 	<ul style="list-style-type: none"> エリアごとの改善案、展示の仕方の具体的な計画立案と実践 エントランスゾーンの魅力ある展示装飾 無加温温室植物の耐寒性の確認とバックヤード植物の活用と展示 生態系及び生物多様性に配慮した植栽管理や家庭園芸の推進並びに普及啓発 	
				実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み期間中、鈴虫やカブトムシ、イモリなどの水生生物の展示。昆虫の食草などのクイズ形式で楽しみながら、環境と生物とのつながりがわかる場の提供 展示植物のハス、ボケ、花ザクロなどの写真による保存状況のチェック 	<ul style="list-style-type: none"> 国際園芸博覧会の機運醸成を図るため、植栽イベントの実施やオブジェ設置など展示(エントランス植栽は季節ごとの花を植え替え、園芸博覧会の看板は常設としている) 夏休み期間中、鈴虫やカブトムシ、イモリなどの水生生物の展示。昆虫の食草などのクイズ形式で楽しみながら、環境と生物とのつながりがわかる場の提供 展示植物の名前の品種の正確性を保つため、ハス、ボケ、花ザクロなど品種の少ないものについても写真による保存チェック 	
				自己評価	A	A	
				備考 (次年度に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> 無加温グリーンハウス内の植生管理(ヒスイカズラの開花) 多様な生物の生息環境の創出・保全 	<ul style="list-style-type: none"> 無加温グリーンハウス内の植生管理(ヒスイカズラの開花) 多様な生物の生息環境の創出・保全 	

項目	階層1	階層2	階層3 中見出し	事業計画（提案内容）	項目	令和5年度	令和6年度
3	(1)	ア	2) 目標入園者数	年間入園者数25万人達成を目指す	計画	・年間20万人	・年間22万人 ・積極的な広域広報の実施と大人数を集客できる企画展開
					実績値	・累計210,431人と目標達成	・累計199,414人と前年割れ（前年は双頭蓮の影響が大）
					自己評価	S	B
					備考 (次年度に向けて)	・広報活動を更に広げ、メディアに取り上げもらう頻度を高めていく。 また既存のイベント・展示会のマンネリ化打破と新しいイベント・展示会の開催	・広報活動の強化を図り、テレビ・ラジオ・新聞の露出を高めていく ・既存展示会の展開中止や縮小に伴い、新しい展示会の開催
		4) イベント企画運営	①植物に興味を持つきっかけとなるイベント ②植物をより深く知る、触れるイベント ③季節や展示等と連動したイベント ④日常的に気軽にセンターを訪れて頂くためのイベント ⑤SDGsや環境意識の啓発イベント ⑥その他の集客に繋がるイベントの取組み	計画	・オンラインツアーイベントの開催 ・県内施設と連携した企画・イベントの開催 ・SNSを活用した目的別の広報	・県内施設と連携した企画・イベントの開催 ・SDGsや環境意識の啓発イベントの実施 ・雨の日でも集客出来るイベントの実施	
				実施内容	・鎌倉芸術館との連携で植物メインのワークショップを開催 ・ルミネとの連携で毎月27日に2,000円以上の買い物をしたお客様にお花のプレゼント（150本） ・カカオからチョコレートを作るイベントは、当園スタッフだけで開催し、スキルUPと今後の展示やイベントに繋がる企画であった	・雨の日でも親子で楽しんでもらえる「カブラ」を展開 ・売店スペースでお面・帽子作りなど様々な「工作」を展開 ・鎌倉芸術館との連携で植物メインのワークショップを開催 ・ルミネとの連携で物日にお客様へお花のプレゼント（150本） ・カカオからチョコレートを作るイベントの自主開催	
				自己評価	A	A	
				備考 (次年度に向けて)	・新規イベントの開催 ・雨の日対策イベントの実施	・新規イベントの開催 ・雨の日対策イベントの拡大	
5	(1)	ア	2) 花き愛好者団体の活動充実についての具体的な取組み	①専任スタッフによる愛好者団体との定期的な話し合い・打合せの実施 ②花き愛好者団体の協議会を開催 ・連絡協議会 ・グループ協議会 ③花き愛好者団体による展示内容の充実や新規団体の誘致 ④花き愛好者団体の活動内容、展示会情報を発信 ⑤花き愛好者団体の新規会員募集をサポート	計画	・花き愛好者団体の活動内容、展示会情報をSNS、HPなど多彩な広報ツールを活用し発信 ・花き愛好家団体の新規会員募集のサポート	・花き愛好者団体の活動内容、展示会情報をSNS、HPなど多彩な広報ツールを活用し発信。 ・花き愛好家団体の新規会員募集のサポート。 ・高齢化している花き愛好家団体のサポート。
					実施内容	・菊花大会が今年60年と節目の年であるため、審査の菊展示だけではなく、団体と協力してフォトスポットや菊のこだわりの装飾を設置 ・「ひょうたん展」では今年も秋篠宮殿下のヒョウタンを展示	・菊花展では、出品数減の対策として「新人の部」を新設。また苗の販売プラス咲いている鉢の売買も展開 ・「ひょうたん展」開催中に、ひょうたん楽器コンサートを開催
					自己評価	A	A
					備考 (次年度に向けて)	・好評の展示会の充実と新規展示会の開催	・既存展示会活性化のため、イベントと即売会等の開催と広報強化 ・新規花き愛好者団体との協業

項目	階層1	階層2	階層3 中見出し	事業計画（提案内容）	項目	令和5年度	令和6年度
5	(2)	ア	2) 企業・団体との連携	①地域連携を担う職員として、広報・協働マネージャーを配置 ②日本植物園協会、県博物館協会、鎌倉市観光協会への入会 ③町内会、神奈川県商工会議所連合会への参加 ④愛好者団体や地域住民との協議会を実施 ⑤企業のCSR活動の誘致 ⑥県や地域の事業に積極的に協力・参加 ⑦花菜ガーデンとの連携	計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携の継続と強化 地域企業、団体のニーズ把握と連携事業の拡大 花菜ガーデンとの連携による相互利用の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携の継続と強化 地域企業、団体のニーズ把握と連携事業の拡大 花菜ガーデンとの連携による相互利用の促進
					実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 国際園芸博覧会協会と連携し、園内に装飾・パネル等の設置をして機運醸成を図る 大船消防署・警察署・周辺自治町内会・玉縄地区社会福祉協議会他と連携し「防災訓練」を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 国際園芸博覧会協会と連携し、園内に装飾・パネル等の設置と花壇植栽イベントを開催し、園芸博の機運醸成を図る 鎌倉中央図書館と連携し、「今昔写真展」のパネル展示開催 鎌倉芸術館オープンデイと玉縄まつりの出店 ルミネと連携し「お花のプレゼント」企画の継続
					自己評価	S	S
					備考 (次年度に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> 地域企業との連携継続と拡大を図る 国際園芸博覧会協会との連携により、博覧会の機運醸成を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 地域企業との連携継続と拡大を図る 国際園芸博覧会協会との連携により、博覧会の機運醸成を図る
			3) 近隣教育機関との連携	①ITツールを駆使した教育機関向け体験学習プログラムの提供 ②職場体験、インターシップの受け入れの充実 ③幼稚園・保育園向けの教育プログラムを提供し、園児が定期的に訪れる仕組みを設計 ④地元企業・教育機関と連携した学習プログラムを提供 ⑤学童と連携した学習プログラムの提供	計画	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、保育園向け教育プログラムの企画、サービス提供 職場体験・インターシップ等の受け入れ継続・推進 近隣小学校・中学校・高校への出張講座実施 	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、保育園向け教育プログラムの企画、サービス提供 職場体験・インターシップ等の受け入れ継続・推進 近隣小学校・中学校・高校への出張講座実施
					実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉支援学校の職場体験実施 玉縄中学・大船中学・明治中学の職場体験学習実施 各大学の学芸員実習、インターシップの受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉支援学校の職場体験実施 鶴岡八幡宮と連携し、出張事業の実施 玉縄・大船・六会・平戸中学の職場体験学習実施 各大学の学芸員実習、インターシップの受け入れ 鎌倉女学院の研修授業実施
					自己評価	A	A
					備考 (次年度に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> 教育プログラムの充実と事業の拡大を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 教育プログラムの充実と事業の拡大を図る
			4) ボランティアの育成	①大船777センターサポーター制度 ②鎌倉みどりのレンジャー活動	計画	<ul style="list-style-type: none"> サポーターを継続・発展、分科会等の検討 NPO法人鎌倉みどりのレンジャーへの支援・連携 	<ul style="list-style-type: none"> サポーターを継続・発展、分科会等の検討 NPO法人鎌倉みどりのレンジャーへの支援・連携
					実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○サポーター活動 登録者：37名 活動回数：25回、延べ参加人数：263人 除草、花がら摘み、花植え等 ※感染対策をした上で活動 ※活動回数内、定期活動以外の応援活動6回、研修会1回を含む。 ・サポーター研修会等 講師：ハス文化研究会 日時：令和6年3月16日 参加者：サポーター3名 ※その他、活動時に必要に応じて職員から講習 ○NPO法人鎌倉みどりのレンジャー 活動回数：35回、延べ参加人数：181人 除草、花がら摘み、剪定等 ※会として感染予防対策をした上で活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○サポーター活動 登録者：40名 活動回数：24回、延べ参加人数：271人 除草、花がら摘み、花植え等 ※感染対策をした上で活動 ※活動回数内、定期活動以外の応援活動10回、研修会2回を含む。 ・サポーター研修会等 「バラについて」講師：木原職員 日時：令和7年1月27日 参加者：16名 「鎌倉の緑と景観」講師：土屋副園長 日時：令和7年3月15日 参加者：サポーター14名、レンジャー20名 ※その他、活動時に必要に応じて職員から講習 ○NPO法人鎌倉みどりのレンジャー 活動回数：32回、延べ参加人数：181人 除草、花がら摘み、剪定等 ※会として感染予防対策をした上で活動
					自己評価	S	S
					備考 (次年度に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の安全を第一に事業の充実を図る 管理作業の補助という役割だけでなく、参加者の癒しという面を大切に誰でも継続していける環境づくりに配慮していく 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の安全を第一に事業の充実を図る 管理作業の補助という役割だけでなく、参加者の癒しという面を大切に誰でも継続していける環境づくりに配慮していく

令和6年度 年間事業計画・実績書<展示会・講座・その他イベント>

様式3

未実施事業

年度内追加事業

施設名(グループ名)		大船フラワーセンター					計画					実施				
種別	No.	事業名	概要	新規・継続	予定時期	予定参加人数	備考欄	実施時期	参加人数	実施状況	備考欄	自己評価				
展示会	1	「フラワーセンター四季」写真展・春編	国際写真家が選定したフラワーセンター内で撮影された春の写真を中心とした展示会	継続	4月	—		5月1日～12日	—	当園で撮影した植物や風景の写真を36点展示		A				
	2	春の盆栽展	春の芽吹きを感じる事ができる盆栽展、販売会も併せて開催	継続	4月	—		4月12日～14日	—	(一社)日本盆栽協会横浜西支部・湘南盆栽教室による盆栽29点 山野草18点を展示		A				
	3	フラワーセンター歴史パネル展	フラワーセンターができてから今に至るまでを写真にて紹介するパネル展	継続	4月～5月	—		4月6日～21日	—	フラワーセンターの60年の歴史を振り返るパネル展を開催		A				
	4	サクラソウ展(1)	当園で育てたサクラソウを紹介する展示会	継続	4月	—		4月23日～5月13日	—	当園栽培のサクラソウを事務所に50点を展示		A				
	5	サクラソウ展(2)	江戸時代から武士達の間で栽培されていたともされるサクラソウ。愛好家による展示会と販売会	継続	4月	—		4月16日～21日	—	湘南さくらそうの会によるサクラソウ展を開催。サクラソウを250点を展示		A				
	6	おしほ美術展 春編	自然の美しさをありのままの姿で表現できるおしほ。春の花を中心に展示を実施	継続	4月～5月	—		中止	—	団体都合により中止		—				
	7	えびね展(1)	山の手えびね会による蘭の展示会	継続	4月	—		4月19日～21日	—	本館2階にて山の手えびね会による展示を開催。170点を展示		A				
	8	えびね展(2)	多彩な色や香りが魅力的なランであるえびねの展示会。ミニ教室や販売会なども実施	継続	4月	—		4月23日～29日	—	グリーンハウスにて神奈川えびね会による展示を開催。95点を展示		A				
	9	色鉛筆植物画展 春	色鉛筆を使って描いた植物画を展示する	継続	4月～5月	—		中止	—	団体都合により中止		—				
	10	ミツバチ展 春編	ミツバチと植物の関係を紹介する	継続	5月	—		4月25日～5月6日	—	グリーンハウスにて養蜂に関するパネルと用具を展示		A				
	11	四季の花・風景写真展	四季の花と風景を併せた写真展を開催	継続	5月	—		中止	—	団体都合により中止		—				
	12	サボテン・多肉植物展	若い方から注目度が高いサボテン・多肉植物の展示会を開催。販売会も併せて開催	継続	5月	—		5月14日～19日	—	グリーンハウスにてサボテン・多肉植物展を開催。134点を展示。		A				
	13	押花作品展	古くは植物標本として活用されていた押花。美しい自然色のまま表現できる作品を多数展示	継続	5月	—		中止	—	団体都合により中止		—				
	14	初夏の盆栽展	日本の伝統である盆栽の展示会の初夏編	継続	5月	—		5月10日～12日	—	グリーンハウスにて初夏の盆栽展を開催。盆栽10席 山野草17点を展示。		A				
	15	花の絵画展	障がい者団体による花を描いた絵画展	継続	5月	—		中止	—	団体都合により中止		—				
	16	日本の自生アジサイ展	日本に自生しているヤマアジサイを中心とした展示会&ミニ教室	継続	5月	—		5月21日～26日	—	展示場にて日本の自生アジサイ展を開催。330点を展示		A				
	17	さつき盆栽展(1)	さつきを対象とした盆栽展	継続	5月	—		5月	—	本館前展示コーナーにさつきを展示。10点		A				
	18	さつき盆栽展(2)	愛好会によるさつき盆栽を対象とした展示会	継続	5月	—		中止	—	団体都合により中止		—				
	19	ペゴニア展	人気のペゴニアの展示会。展示会に併せて販売会も実施する	継続	5月～6月	—		5月28日～6月2日	—	グリーンハウスにてペゴニア展を開催。65点を展示。		A				
	20	ヤシ展	生活用品に広く使われているヤシ。人の暮らしにどのように使われているかなどをテーマにした展示	継続	6月	—		中止	—	今年度は展示中止		—				
	21	花とみどりの写真展	花とみどりを撮影した写真展	継続	6月	—		中止	—	今年度は展示中止		—				
	22	初夏の洋ラン展	大きくて美しいものから不思議な形をしたものまで、さまざまなランを紹介する展示会	継続	6月	—		6月18日～23日	—	グリーンハウスにて初夏の洋ラン展を開催。109点を展示。		A				
	23	四季の風写真展	デジタルカメラの愛好家による花やみどりをテーマとした写真展	継続	6月	—		6月11日～16日	—	展示場にて四季の風写真展を開催。31点を展示。		A				
	24	ギボウシ展	人気のギボウシの展示会	継続	6月	—		6月27日～30日	—	展示場にてギボウシ展を開催。111点を展示。		A				
	25	サボテンミニ展示	人気のサボテンの展示会	継続	6月	—		6月30日	—	フラワーホールにてサボテン品評会を開催。58点を展示。		A				
	26	七夕飾り	来園者参加型の七夕飾り	継続	6月	—		6月22日～7月7日	—	エントランスに七夕飾りを設置。短冊284枚を鶴岡八幡宮に奉納。		A				
	27	水生植物展	夏に涼しげな植物の展示会	継続	7月～8月	—		6月～8月初旬	—	ハスの鉢植えを玉縄桜広場に展示。約240種300鉢。		S				
	28	食虫植物展 パート1	珍しい生態の食虫植物とそのしくみを解説を織り交ぜながら展示する	継続	7月～8月	—		7月13日～9月1日	—	グリーンハウスにて当園による食虫植物展を開催。約80点を展示。		A				
	29	食虫植物展 パート2	愛好家が保持している貴重な食虫植物の展示会	継続	8月	—		8月6日～12日	—	本館2階にて食虫植物展を開催。約100点を展示。		A				
	30	こども絵画展	こどもが描いた植物画の展示会	継続	7月～8月	—		7月27日～9月15日	—	展示場にてこども絵画展を開催。181点を展示。		A				
	31	世界の植物と文化展	世界の植物と文化を紹介する展示会	継続	8月	—		9月6日～10月1日	—	本館二階フラワーホール・フラワーラームにてヒョウタン展を開催。約200点を展示。		A				
	32	夜間開館展示 夏	夜間開館に併せ、ライトアップなどの特別展示を実施	継続	7月	—		8月17日～24日	—	グリーンハウスにて夜に咲く花・夜に香る花7などを展示紹介。		A				
	33	「フラワーセンター四季」写真展・秋編	国際写真家が選定したフラワーセンター内で撮影された秋の写真を中心とした展示会	継続	9月	—		9月17日～29日	—	展示場にてフラワーセンター四季写真展を開催。37点を展示。		A				
	34	おしほ美術展 秋編	自然の美しさをありのままの姿で表現できるおしほ。秋の花を中心に作品を展示する	継続	9月～10月	—		中止	—	団体都合により中止		—				
	35	秋の洋ラン展	愛好家が育てたランの展示会。販売会も併せて開催	継続	9月	—		10月29日～11月4日	—	グリーンハウスにて秋の洋らん展を開催。140点を展示。		A				
	36	植物アート展(1)	植物をモチーフとしたアート展示会	継続	9月	—		9月6日～10月1日	1673名	本館二階フラワーホールにてヒョウタン展を開催。		S				
	37	植物アート展(2)	植物画を中心としたアート展示会	継続	9月	—		9月6日～10月1日	1569名	本館二階フラワーラームにてヒョウタン展を開催。		S				
	38	四季の花・風景・写真展	四季の花と風景を併せた写真展を開催	継続	10月	—		10月22日～27日	456名	展示場にて四季の花風景写真展を開催。32点を展示。		A				
	39	サボテン・多肉植物展	若い方から注目度が高いサボテン・多肉植物の展示会を開催。販売会も併せて実施	継続	10月	—		10月8日～14日	—	グリーンハウスにてサボテン・多肉植物展を開催。120点を展示。		A				
	40	おもと展	縁起の良い植物として有名なおもとを集めた展示会	継続	10月	—		10月12日～13日	337名	展示場にて神奈川おもと作品展を開催。82点を展示。		A				
	41	ミツバチ展 秋編	ミツバチと植物のかかわりを紹介する展示会	継続	10月	—		10月10日～31日	—	グリーンハウスにて秋のミツバチ展を開催。		A				
	42	菊花大会(切花)	第61回を迎える伝統ある日本の菊栽培の技術向上と普及を図るために開催する切り花の展示会	継続	10月～11月	—		11月1日～24日	—	展示場にて菊花大会(切花)を展示。		A				
	43	菊花大会(盆栽)	第61回を迎える伝統ある日本の菊栽培の技術向上と普及を図るために開催する盆栽の展示会	継続	10月～11月	—		11月1日～24日	—	園内設置の菊小屋にて菊花大会(盆栽)を展示。		A				
	44	ハロウィンディスプレイ	ハロウィンに向けた仮装コーナーやおばけカボチャの展示を行う	継続	10月～11月	—		9月10日～	—	園内エントランス広場でハロウィン装飾を設置		A				
	45	色鉛筆植物画展 秋	色鉛筆を使って描いた植物画の展示会	継続	10月～11月	—		中止	—	団体都合により中止		—				
	46	夜間開館展示 冬	夜間開館にあわせ展示を実施	継続	11月～12月	—		11月26日～12月25日	—	グリーンハウスにてポインセチアをポインセチアツリーとして展示。		A				
	47	クリスマス装飾	クリスマスと植物に関連した展示	継続	11月～12月	—		11月26日～12月25日	—	エントランス・インフォメーション・グリーンハウスにクリスマス装飾を設置。		A				
	48	寒蘭展	寒い時期に咲く寒蘭を集めた展示会	継続	11月	—		11月12日～16日	503名	フラワーホールにて寒蘭展を開催。52点を展示。		A				
	49	植物アート展(1)	植物をモチーフとしたアート展示	継続	11月	—		12月7日～22日	—	グリーンハウス「ハイビスカス室」にて寺村サチコ展を開催。		A				
	50	植物アート展(2)	植物を題材としたアート展示会	継続	11月	—		12月7日～22日	—	グリーンハウス「花木室」にて寺村サチコ展を開催。		A				
	51	パンジー・ビオラ展	人気のパンジー・ビオラを集めた展示会	継続	12月～1月	—		12月10日～1月26日	—	グリーンハウスにてパンジー・ビオラ展を開催。		A				

未実施事業
年度内追加事業

施設名(グループ名)		大船フラワーセンター						実施				
種別	No.	事業名	概要	新規・継続	予定時期	予定参加人数	備考欄	実施時期	参加人数	実施状況	備考欄	自己評価
	52	新春盆栽展	新年にふさわしい華やかな盆栽の展示会	継続	1月	—		1月4日～13日		グリーンハウスにて当園所有の盆栽を展示した盆栽展を開催。		A
	53	正月装飾	正月を彩る植物の展示会	継続	1月	—		1月4日～26日		エントランスに葉ボタンで作成した干支の立体花壇を設置。		A
	54	サボテン展示会	人気のサボテンの展示会	継続	1月	—		2月23日～24日		グリーンハウスにて多肉植物展として展示。		A
	55	カカオ展示	カカオがチョコレートになるまでの工程を紹介する	継続	2月	—		2月1日～24日		グリーンハウスにてカカオから作るチョコレートのみ展示を開催。		A
	56	フォトコンテスト作品展示	当園主催のフォトコンテストに参加いただいた作品を展示する	継続	2月～3月	—		11月30日～2月23日		展示場にてフォトコンテスト写真展を開催。102点を展示。		A
	57	クリスマスローズ展(1)	愛好家によるかわいらしいクリスマスローズを集めた展示会。販売会も併せて開催	継続	2月	—		2月22日～3月9日		クラフトコーナーにてクリスマスローズ展を開催。100点を展示。		A
	58	クリスマスローズ展(2)	当園で集めたクリスマスローズの展示会	継続	2月	—		2月22日～28日		展示場周りに当園栽培のクリスマスローズを植え込み展示。		A
	59	花に魅せられて写真展	フラワーセンターで撮影した花を中心とした写真展	継続	10月	—		6月18日～23日		展示場にて花に魅せられて写真展を開催。44点を展示。		A
	60	花ざんまい写真展	たくさんの花の写真を集めた展示会	継続	3月	—		2月26日～3月2日		展示場にて花ざんまい写真展を開催。103点を展示。		A
	61	ランキョウ展	花卉が重なった姿が人気のランキョウを集めた当園主催の展示会	継続	3月	—		3月4日～9日		グリーンハウスにてランキョウ展を開催。55点を展示。		A
	62	サボテン展	人気のサボテンを集めたミニ展示会	継続	3月	—		3月7日～9日		グリーンハウスにてサボテン花期展を開催。50点を展示。		A
	63	植木品評会	植木生産農家による展示会&販売会	継続	3月	—		3月7日～9日		芝生広場にて植木品評会を開催。150点を展示。		A
	64	春蘭展	春咲きの蘭の展示会	継続	3月	—		3月11日～15日		展示場にて春蘭展を開催。64点を展示。		A
	65	花の絵画展3月	障がい者団体による絵画展	継続	3月	—		中止	中止			—
	66	花の会写真展	花を自由な写真の撮り方で撮影した写真展	継続	3月	—		3月18日～30日	1181名	展示場にて神奈川花の会写真展を開催。62点を展示。		A
	67	季節の写真展示	写壇大船による季節の写真展示	継続	通年	—		通年		フラワーホール2階スペースに写壇大船による写真を展示。		A
	68	季節の盆栽展示	フラワーセンター所有の盆栽を展示	継続	通年	—		通年		本館事務所前展示コーナーに当園所有の盆栽を展示。		A
	69	季節の山野草展示	季節ごとの野草を紹介	継続	通年	—		通年		本館事務所前展示コーナーに当園所有の山野草を展示。		A
	70	四季の立体花壇	立体花壇を使ったオリジナル展示	継続	年4回	—		通年		本館事務所前に季節の花鉢で制作した立体花壇を設置。		A
	71	こわい植物展	毒がある、トゲがある、見た目が怖いなどの植物の展示	継続	10月	—		10月26日～11月30日		グリーンハウス花鉢室にてこわい植物展を開催。		A
	72	スイートピー展	神奈川県産のスイートピーを展示	継続	2月	—		2月15日～28日		グリーンハウスにてスイートピー展を開催。60種を展示。		A
	73	押し花作品展	押し花会主催の作品展	継続	10月	—		10月16日～20日		展示場にて押し花作品展を開催。53点を展示。		A
	74	山野草と斑入り植物展	横浜栄山草会による山野草の展示	継続	4月	—		4月25日～29日	—	展示場にて多種多様な山野草を展示。102点展示		A
	75	今昔写真展・玉縄	鎌倉市中央図書館協力による写真展示	新規	6月・7月			6月1日～7月28日		本館2階にて今昔写真展・玉縄を開催。		A
	76	今昔写真展②	鎌倉市中央図書館協力による写真展示	新規	10月・11月			10月5日～11月27日		本館2階にて今昔写真展・大船を開催。		A
	77	今昔写真展深沢・腰越	鎌倉市中央図書館協力による写真展示	新規	12月・1月			12月7日～1月26日		本館2階にて今昔写真展深沢・腰越を開催		A
	78	今昔写真展 鎌倉	鎌倉市中央図書館協力による写真展示	新規	2月・3月			2月1日～3月31日		本館2階にて今昔写真展 鎌倉を開催		A
	79	第2回藤沢バラ会春バラ展	藤沢バラ会によるバラの展示	継続	5月			5月17日～19日		展示場にてバラを展示		A
	80	ボタニカルアート展	当店所有のボタニカルアート作品を展示	継続	6月			6月4日～9日		展示場にてボタニカルアート16点を展示		A
	81	ハスの写真展	当店所有のハスの写真を展示	継続	7月			7月6日～21日		展示場にてハスの写真30点などを展示		A
	82	紙で作る蓮の花展	紙細工の蓮の花作品の展示	新規	7月			7月6日～21日		展示場にて紙細工の蓮の花を100点展示		A
	83	渥美半島田原市の花展	渥美半島田原市のカラーリングマム切り花展示	新規	11月			11月23日～12月1日		グリーンハウスにカラーリングマム35点を展示		A
	84	干支の植物展	当店所有の干支にちなんだ植物の展示	継続	1月			1月4日～26日		グリーンハウスにて干支の蛇にちなんだ植物を展示		A
	85	かまくらひとつまみ作品展	つまみ細工の展示	新規	3月			3月14日～3月23日		グリーンハウスにてつまみ細工のパネルを展示		A
	86	お酒と植物展	植物からお酒が作られる案内展示	新規	8月			8月14日～8月25日		カフェ店内にてパネル展示		A
	87	ボタニカルアート展	小川吉四郎氏のご家族寄贈のボタニカルアートを展示	継続	3月			3月4日～3月9日		展示場で18点の作品を展示		A